

真の「ファイナンシャル・フリーダム」を実現

金融ビッグバンによって、一気に進行してきた金融の自由化。「貯蓄」から「投資」へと変化する時代の流れに合わせ、市場には次々と新しい金融商品が登場し、情報の氾濫は留まることを知らない。そんな中、豊富なITと金融のノウハウを結集させた先進のソフトウェアを開発し、金融市場の発展に貢献している企業がある。

株式会社エルディーエー

先行き不透明な現代社会。将来の豊かな生活を実現するため、多くの個人投資家が金融市場に参入している。しかし、欧米諸国に比べ、「お金」に対する教育が未熟といえる日本の社会において、彼らを取り巻く環境は非常に大きなリスクを内包していることも事実である。

世界の中でも高水準にあるといえる日本の年間家計所得。しかし、内訳を見ると、そのほとんどが給与所得であり、投資による金融資産の割合は極端に小さい。これもまた、欧米諸国との「お金」に対する大きな意識レベルの違いを表している。

株式会社エルディーエー（資本金1000万円）は、こうした個人投資家が抱えるリスクの最小化と金融市場の活性化に貢献すべく、金融分野における豊富な専門知識と高度なITを融合した先進のソフトウェアを開発し、大きな成長を遂げている。「現在、日本は『金融鎖国』の状態といっても過言ではないでしょう。極端に低い金利や、豊かな将来のために最も大切な『お金』への意識が低いことも、その象徴といえます」と語るのは、同社の西尾優社長。

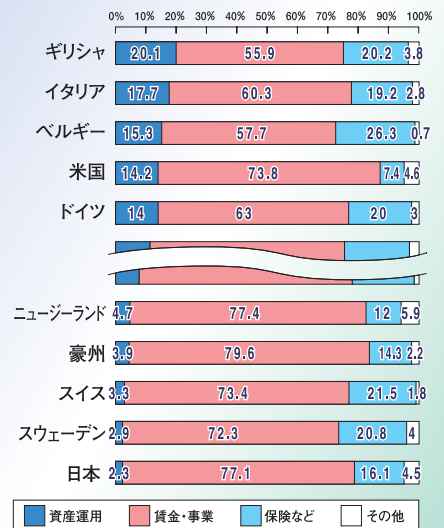
好奇心旺盛な西尾社長は、大学在学中にドイツへ留学し、卒業後には5年間、アメリカで様々な

家計所得の収入別構成比の国際比較

(2005年、%、1所帯あたり)

調査対象国71ヶ国中、産油国を除外した年間世帯所得4万ドル以上の国と地域
資料: "World income distribution 2006/2007", Euromonitor

■日本での資産運用比率は世界最低レベル



な仕事を経験。バブル終焉期に帰国後も、不動産会社や医療コンサルティング会社に勤務するなど、精力的に自らの活躍の場を追求していた。

そして、ファンド会社に勤務する友人と再会を果たした際、日本における金融市場の現状と個人投資家をサポートするソフトウェアの存在を知り、起業を決意したという。

「日本の金融市場には存在しない全く新しいソフトを作ろうと考へ、金融機関のAPI（アプリケーション・プログラム）

グ・インタフェース）に適用した独自のプログラムを作成しました」（西尾社長）

「出会いは人生の花を咲かせる」をモットーに、積極的に人脈を広げてきた西尾社長のもとには、日本でも屈指の技術レベルにあるハイレベルなプログラマーが集結。少数精鋭ながら、日本初となるサーバー管理型FX自動売買ソフトの開発に成功したのである。

「志高く優秀な人物との出会いは、私自身の発想をこれまでと全く違う次元へと導いてくれます。こうした刺激的な出会いを大切に、常に斬新なアイデアを世の中に発信していきたいと思えます」（西尾社長）

同社は、こうした西尾社長の持つ豊富な人脈に基づいた経営コンサルティング事業も展開し、日本社会における新たな事業創

出にも貢献している。
**自社リソースの強化と活用で
金融自由化の未来を創造**

同社は今後、このFX自動売買ソフトの普及とバージョンアップ、ブランド強化を目指すとともに、日経255など新しい金融商品に対応するソフトの開発にも取り組もうとしている。

また、あらゆる分野の専門家や研究者が自らの理論を具現化するためのプログラム作成の場を提供することも検討中。自社のリソースを最大限に生かし、日本の産業界全体の活性化にも貢献しようとしているのだ。

「ボディヘルスとマインドヘルス、そして『ファイナンシャルヘルス』の3つが揃ってこそ、はじめて真のハッピーライフが実現するのです。私たちは、ソフトの開発だけでなく、健全な投資環境を実現する仕組みを提供していきたいと考えています」（西尾社長）

「LIFE」「DESIGN」「ASSIST」の頭文字を由来とする社名のとおり、関わり合う全ての人と企業の人生をデザインし、幸福の実現をサポートしていく同社。「金融自由化」の未来を創造すべく、年内には活気づくアジア市場へも進出する予定である。



西尾 優 社長